

## 第21回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成29年5月8日（月）午後2時～午後3時15分
2. 開催場所 甲府商工会議所 401会議室
3. 委員出席者 12名（本人出席11名、代理出席1名、別添名簿参照）
4. 事務局出席者 甲府商工会議所 事務局長 越石 寛  
LLCまちづくり甲府 リーダー・業務担当 志村 修  
〃 企画担当 塩見 芳朗  
〃 総務担当 井上 将志
5. 甲府市出席者 甲府市企画部企画総室地域振興課 課長 依田 幸二  
〃 係長 山本 圭介
6. 議 事 1) 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について  
2) 甲府市中心市街地活性化基本計画の変更について  
3) その他
7. 議事内容等

開会の後、進藤会長は、「甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証及び同計画の変更について甲府市より説明いただき、委員各位の意見を伺う」旨のあいさつを述べ、その後、規約により議長に就任した。

### 1) 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について

議長は、甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証のため、計画の概要およびその進捗状況等について甲府市に対し説明を求めた。この求めに応じ、甲府市地域振興課依田課長、山本係長が説明を行った。

説明の概要は以下のとおり。

#### 1. 本協議会開催の趣旨について

中心市街地の活性化に関する法律及びそれに伴う基本方針に基づき、中心市街地活性化基本計画の期間中、毎年、設定した数値目標の確認や取組みの進捗状況等について検証していくこととなっている。昨年4月から本年3月までの1年間の進捗状況等を検証し、本協議会の意見を付し国に報告するため、本協議会を開

催していただいた。甲府市より基本計画の進捗状況等を報告し、協議会としての意見をいただきたいと考えている。

## 2. 本計画の概要、進捗状況等について

配付資料に基づき、本計画の基本方針、活性化の目標、活性化に向けた主な事業、及び効果と指標状況について説明がなされた。

甲府市からの説明を受けた後、議長が議場に意見を求めたところ、委員から以下の意見等が出された。

浦 部 委 員：説明のあった中心市街地歩行量調査については、平日、土日等どのように実施されているのか。

甲 府 市：毎年11月第4金、土、日に定点観測と定日観測として3日間実施している。大きなイベント等が行われる場合は、若干調整することもあり、可能な限り一過性ではない数字を集計している。

浦 部 委 員：空き店舗は少しずつ埋まってきているようだが、飲食店を中心に土日を休んでいる店舗が多い。通常だと多くの方の仕事が土日休みとなり、家族揃って中心市街地へ出てきて街中を歩いてもらえたら良いが、実際は、車で郊外へ行ってしまおうというパターンになっている。中心市街地に賑わいを取り戻すため、土日に営業する店舗を増やすことが重要なことのひとつではないかと考えている。もう一点、歩行量調査で金、土、日でどのような違いがあったかを教えて欲しい。

甲 府 市：金曜日は中心部で働く人が多く、反面土日休みとなり歩行量は減少している。賑わいという面では影響が大きい。

浦 部 委 員：土日に家族で出てこられる楽しい中心市街地を目指していくために、飲食店や物販店へのサポートを考えていかないと、本来の意味での歩行量の増加にはつながらない。仕事をしている人が多いから平日は歩行量が多いというのは、街の賑わい、楽しさを創っていくという意味では本末転倒になってしまう可能性もあるので、特にその点に力を入れていただきたい。

甲 府 市：土日については、甲府駅北口など拠点となる場所でイベントがあれば人が集まるということもある。甲府市の特徴として昼間と夜間の人口に差があるので、平日金曜日は働く人が多いから店を開けているが、

土日は閉めている店舗も多いので、経営者が自主的に開けてみようと思える街にしていかなければならないと思っている。

丹 沢 委 員：歩行量調査によると、全体的に前年度より歩行量が増加しているようだが、どこが増加し、また減少しているかを、全体を捉えた数字を出すばかりではなく、具体的に図面に増減ポイントを示していただくと非常にわかりやすい。そして、歩行量が増加したポイントを中心に積極的に街づくりを進めていくべきである。商売もそうであるが、売れるものを売っていくように、人が来るところを広げていくといった戦略を取っていけば、金土日は歩行量が増えていくのではないかと。人が来ないところを一生懸命に取り組んでも難しいので、歩行量が増加しているところに多くの人遊びに来るような街づくりを広げていく形が良い。歩行量調査の結果を活かせば、戦略的にこのエリアを拡大し、集中して街づくりをしていけばよいというものが見えてくるのではないかと。

丸 茂 委 員：回遊性について、甲府市からも進捗状況の説明があったが、北口の整備が完了し、そこに集まった人たちを南側へ回すといった回遊性の向上について、早急に取り組んでもらいたい。先日、山梨総合研究所の方と話をした。台湾の実業家が来県し、桜と梅を見たいとの要望があり案内し、更に街の中を歩いてみたいとの要望があったが、甲府駅南口は居酒屋が多く、街を見せるという状況にはなかったため、県立美術館を案内した。美術が好きな彼は、東京の美術館が混んでいて見ることが出来なかったため、ミレーの絵が豊富でゆっくり見ることができたことに非常に満足し、桜と梅と美術館を褒めてくれて楽しんでくれた。次に、土産を購入するため県産品を求め地場産業センターに連れて行ったが、高齢で物品に対する意欲がなく、さっぱり関心を示さなかった。それを聞いた時に、部分的には拠点が出来上がっているが、それを結ぶ街の回遊性を向上させる取り組みを急いで進めるべきであると強く感じた。街づくりを研究する木村尚三郎氏が、快適な街の要件について、一つ目は、防災と防犯による安全な街、二つ目は、歩いて楽しく散歩ができる街。そして、それぞれの拠点到土産店を含めた物販店と飲食店が随所にあるとかつて語っていた。そのことから、各拠点をつなぐ回遊性の向上を急いでもらいたい。

甲 府 市：丹沢委員のご意見について、甲府市商工課が作成した資料には、各ポイントの増減などが示されている。次回以降、さらにビジュアルに落とし込んだ資料等を用意したい。回遊性については、点が点のまま、線まで行っても面になっていないという状態にある。北口については、甲州夢小路を南へつないでい

くため、甲府城の東側道路、桜町の踏切の拡幅が始まっていくので、北から南への回遊性は高まっていくと思っているが、時間がかかり進んでいない部分もある。また、甲府城周辺整備については、平成29年6月に実施計画が策定される予定であり、回遊性についてもさらに考えていくことになると思う。デュオヒルズ甲府についても、平成30年2月に完成予定であるため、周辺商店街含めた回遊性も考えていく。以前は平和通りを中心とした人の流れだったが、甲府城周辺から東へかけた回遊性を中心に、中心市街地活性化基本計画でも回遊性については考えている。

森澤委員：資料2の中で、平成27年実施事業にある中心市街地リノベーション事業については、現在継続事業でしょうか。また、今までどの程度の利用があり、現在のスペース及び利用状況を教えていただきたい。

甲府市：民間事業なため把握していないが、リノベーションということで文化のるつぼへちまなどにおいて進んでいる。

森澤委員：情報が足りないので、情報としていただければこういう場所があると周知ができる。

議長は、他に意見等がないことを確認し、本議事を終了した。

## 2) 甲府市中心市街地活性化基本計画の変更について

議長は、甲府市中心市街地活性化基本計画の変更について甲府市に対し説明を求めた。この求めに応じ、甲府市地域振興課山本係長が説明を行った。

説明の概要は以下のとおり。

### 1. 本基本計画の変更の趣旨について

認定中心市街地活性化基本計画の変更については、中心市街地の活性化に関する法律の規定により、内閣総理大臣による認定が必要となり、認定を取得するためには、本協議会の意見を聴き、変更申請をする必要がある。

### 2. 本計画変更の概要

今回追加する事業は、合同会社まちづくり甲府を実施主体としたエリアマネジメント広告事業。本事業は、合同会社まちづくり甲府が広告収入を得ながら、その収益を中心市街地活性化における公共的な取り組みへ充当することにより、実施主体

である同社の認知度の向上や自主財源の創出により、積極的な事業展開が可能となり、計画の実行性の担保等が期待できるため、本市としても、見て楽しみ、買って楽しめる中心市街地の活性化に必要な事業と考えている。

甲府市からの説明を受けた後、議長が議場に意見を求めたが、委員からの意見は特になく、議長は、本議事を終了した。

### 3) その他

議長は、その他として議場に意見を求めたところ、委員から以下の意見が出された。

甲 府 市：甲府市中心市街地活性化基本計画の変更については、7月に変更したく内閣府へ申請していく予定。

事 務 局：中心市街地歩行量調査については、ダイエー甲府店が出店した昭和49年に甲府商工会議所が始めたもの。平成20年に甲府市中心市街地活性化基本計画を甲府市が策定する際、歩行量が指標の一つとなることから、調査の実施を甲府市へ移管。これまでも調査結果が十分周知されていないこともあったので、甲府商工会議所等が3年に一度実施している山梨県商圈実態調査と合わせて、商業者へ広く周知し活用していただけるよう対応していきたい。

また、歩行量については、以前は日曜日が最も多かったが、平成10年頃から土日が減少し始め、現在は金曜日が最も多くなっている。土日の歩行量を増やすには、既存の街づくりの取り組みでは難しいと思っている。

今後のお城フロント開発、甲州夢小路などの観光客を取り込んだ街づくりに切り替えていかないと難しい中で、特にお城フロントの開発に期待しており、観光客に来ていただけるよう、街の転換を図っていかないと考えている。来街者が少ないことから、飲食店を中心に土日を閉めている傾向が強い状況が続いているため、街の方向転換を図りながら対応していかなくてはならないと考えている。

進 藤 議 長：先般開催された甲府商工会議所正副会頭会議においても話したが、鳥取県境港市では、港と魚と妖怪による街おこしを進めており、地域の人たちがすべてを観光協会に託しており、港と魚と妖怪にすべてのイベント等を結び付けて取り組むことで評判となり、多くの観光客で賑わっている。長野県高遠城址については、30年位前に見に行ったが、当時は高

遠城址に行く間の道は特に街並みが出来ていなかったが、先日訪れた時には、甲州夢小路のような通りが続いて、金融機関の店舗も昔の土蔵造りになっており、このような街づくりを見ると、何か売りものがあり、その売りものにすべてがフォーカスして街全体が動いているという特徴が見える。

観光客を呼び込まなければならない、売れるものを売るといった発言もあったので、甲府市もお城フロントの整備を、歴史ある街の一角として開発を進めることと、何を売りにするか、特徴的なものを一つ打ち上げ、全体がフォーカスしていくことが一つの方策ではないかと考える。

藤田委員代理：本日は、甲府中央まちづくり(株)高野委員の代理として出席している。以前から甲府中心市街地の活性化関係の仕事に取り組んでいる。

甲府市中心街活性化とは何であるかという基本的な考え方が大切であり、過去に再開発に関わったことから考えることは、イオン等郊外型ショッピングセンターが出店してから中心市街地の活性化がストップしてしまっている、また土日は若者を中心に東京へ出てしまい、出ていく人と残った人の間に入ってしまったのが甲府。その間を甲府の魅力で埋めていくことが大切。

この中で、インターネット及びSNSが重要視されているが、甲府市はどのような戦略を持っているか。

甲 府 市：観光客を取り込む施策の一つとしてサムライW i f i の環境整備を進めており、街中、ホテル等で利用できる状況になっている。免税の関係は、これまで一時的に盛り上がったが、中国人観光客が減少していることから停滞している感じがある。方向性としては、甲府城周辺を中心に、その他にも酒折宮、甲府五山など点と点を結んで利用していくことを戦略としている。また、市役所内各部署においてSNSを活用しており、各担当の考え方を持ちながら、観光についてもスタンスを持ち歩調を合わせながら進めている。

岸 川 委 員：着任後1年経過していないが、かつて国の立場で本協議会に出席し話をしたことがある。甲府市からの説明の補足だが、まずW i f i 環境の整備を進めている。また移住定住コンシェルジュ、観光課等それぞれSNSで発信しているが小粒であり、内輪で盛り上がっているという印象がある。外向けの発信力を強化していかなければならないと感じている。甲府市の取り組みとして今回思い切ったことは、J T Bパブリッシングるるぶと今年から3年間連携して取り組むことである。

るるぶも、広域的な地域の紹介から、次に地域を絞り、そしてスコープを狭くし紹介してきたが、今回、住民・リピーターだから知っているという、従来とは違う切り口で甲府を取り上げることとなった。

SNSも一人一人が発信することも重要だが、甲府大使などフォロワー

が多い発信力のある方にもお願いしないとならない。特に2年後は開府500年があり、本基本計画も最後の年でもあるので、本日各委員よりいただいた意見を参考にしていきたい。

歩行量調査については、地域全体の歩行量が増加したとしても何も意味をなさない。事業を実施し頑張っているところが増加したかどうかが重要である。また、時間帯についても、例えば夜の街を盛り上げたいとして居酒屋を増やす、演芸場を作りたいということでは夜間ではなく昼間どれだけ人が増えたかを測るなど、細かく調査する必要がある、甲府市としても実施方法について検討するよう指示していきたいと考えている。

また、中心市街地のエリアが甲府市の場合、人口規模から考えると他市と比較し広いと思う。もう少し狭くても集中的に行った方が良いのではないか。

本日配布された資料2の図を見てもオレンジ色と紫色に色分けされており、紫色は1期計画で大きな成果が見られなかったエリアで、観光客が来もらえるエリアは、オレンジ色の1期計画で成果がみられたエリアであり、歩いて行く場合でもここまでが精一杯ではないか。

では、紫色のエリアをどうしたら良いかと考えると、私自身9ヵ月甲府に住んでみて土曜日は比較的開店しているが、日曜日は閉まっている。これは住んでいる人が減っていることが問題ではないかと思っている。紫色のエリアは、観光客で賑わうだけではなく、ここに居住を取り戻すということも必要ではないかと考えている。

したがって、現在建設中のデュオヒルズ甲府が満室になれば、200人以上の人口が新たに増えることになるので、大きなインパクトになると思う。これによりどのように変わるか見ていく必要がある。

また、甲府市の取り組みとして空家対策へ力を入れていく。空家の調査を実施するが、例えば今まで空家も含めてリフォームすれば一律10万円という政策的意図のない住宅政策を実施してきたが、一部は残すが、一部の予算を振り分けて空家を改修する、あるいは除却する、それも特に中心市街地エリア内であれば、補助額を増額するという形で、できるだけ中心市街地活性化基本計画のエリアに居住を取り戻す、空家を改修して住んでもらうというように、予算額的にはまだまだ足りないかもしれないが、空家が多い紫色のエリア、中心市街地活性化基本計画の南側エリアに対しても対応していけたら良いと考えている。

観光客を中心に回遊性を高めるエリアと、居住を増やすことによって活気を取り戻すエリアと分け考えて、それを支えていく街づくりの主体が一つでは難しいかもしれない。コミュニティレベルで、北口は、北口まちづくり委員会が頑張っている、それと同じようにいくつかの主体がもう少し出てくる必要があると思っている。

本日、エリアマネジメント広告事業（案）が説明されたが、このような収益事業をできるだけ見つけて、地域に還元していくといった方法が必

要になってくるのではないかと考えている。

加々美委員：先日、甲府市第六次総合計画の説明会時も話をしたが、春日地区としては、定住人口の増加が必要であると考えている。そのためには、空き家対策など細かい対策を重ねていくのか、ビル・マンションの建設により一気に200人以上の定住人口が増えるような対策を取るのか。この地域の中には、空家というよりは駐車場・空き地が多くなってしまっている現状がある。駐車場が虫食い状態にあるのは、この地域の活性化のためには非常に障害になってしまっていると思う。全体的に取り組むことは難しいと思うが、区域を区切って、開発地域としてビルを作るなどして、その中に定住人口が増えるよう住宅を作っていったらどうかと考えている。どうかしないと、この地域は、外から来る人を増やすというよりも、中の人口が増えていけばその中の商店も地域としても活性化できると考えている。もう少し力を入れて定住人口を増やすことに取り組んでもらいたい。

金丸委員：私は、合同会社まちづくり甲府の代表社員という立場で出席している。甲府市から説明があったように、合同会社まちづくり甲府としては、空き店舗対策やオリオンイースト活性化、エリアマネジメント広告事業などに取り組んでいくわけだが、資金的にも余裕があまりないため思うように進まず責任も感じている。他県の同様のまちづくり会社では、デュオヒルズ甲府のようなマンションにプラスして、商業施設さらには医療施設などを誘致しており、地元企業が積極的に応援をして、活性化しているような報告もある。また、先日の甲府商工会議所での正副会頭会議において、合同会社まちづくり甲府について話が上がった。現在、私が代表社員を務めているが、その前は、当時甲府市山本副市長が代表社員を務めていた時期があった。これは、甲府銀座ビルの案件を甲府市の責任で進めるという意気込みの表れであったと思っているが、山本副市長が本省へ戻られた後、甲府市の方からは代表社員にはなっていない。岸川副市長に、代表でなくても合同会社まちづくり甲府へ参画していただきたいと、いずれお願いしようと思っていた。本日お目にかかったのでお願いしたいと思う。いずれにしても、甲府市の活性化について様々なことを行っているが、なかなか殻を破ることができないのが現状である。開府500年、信玄公生誕500年は大きな節目なので、そこを目指して取り組んでいきたい。

高野オブザーバー：甲府市とも協働しながら微力ではあるが力を尽くしていきたいと考えている。厳しい状況であることは承知している。山梨県においても甲府駅南口周景計画、甲府城南側エリア活性化計画にも力を入れているのでご



協力をいただきたい。

道村オブザーバー：19年前に甲府警察署に勤務していたころは、甲府市中心街の110番通報が山梨県下でも一番多かったが、ここ数年は南甲府警察署、つまり郊外の方が多い現状にある。本日も各委員の意見を聴く中で、中心市街地の活性化を行っていくうえでも、暴力団関係事案が中心部の人口が減少した要因の一つとと思っているので、その排除なども含め対応していきたい。

本計画の実施に際し、道路使用等で協力していきたいと思っている。

議長は、その他に意見等がないことを確認し、議事を終了、事務局が閉会を宣した。

第21回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属名・役職名	5/8
会 長	進 藤 中	甲府商工会議所 副会頭	○
副会長	長 坂 善 雄	甲府商店街連盟 会長	×
〃	浦 部 保 仁	甲府市大型店協議会 会長	○
〃	古 屋 賀 章	(株)山梨中央銀行 執行役員営業統括部長	○
委 員	丸 茂 紀 彦	甲府商工会議所 相談役	○
〃	高 野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 代表取締役	代
〃	岸 川 仁 和	甲府市 副市長	○
〃	金 丸 康 信	合同会社まちづくり甲府 代表社員 甲府商工会議所 職務執行者	○
〃	丹 沢 良 治	NPO法人街づくり文化フォーラム 理事長	○
〃	木 造 雅 隆	甲府中央商店街新生協議会 会長	○
〃	雨 宮 慶	朝日通り商店街(協) 理事長	×
〃	宇佐美 太 郎	ココリ管理組合 理事長 (株)オギノ 職務執行者	×
〃	雨 宮 正 英	山梨交通(株) 専務取締役	×
〃	加々美 富 明	春日地区自治会連合会 会長	○
〃	清 水 明	春日地区自治会連合会 副会長	×
〃	牛 奥 久 代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	○
〃	森 澤 昌 子	子育て支援団体ハッピーキッズ 代表	○
オブザーバー	高 野 和 摩	山梨県 商業振興金融課 課長	○
〃	道 村 和 彦	甲府警察署 交通課 課長	○

○=出席、×欠席、代=代理出席